

# SD-WANソリューションの比較、クライアントからクラウドまで







今日のSD-WANソリューションは、どれも同じというわけではありません。提供されている多くの比較では、わずかな特性だけに焦点を絞りがちで、優れたユーザーエクスペリエンスの提供や運用の簡素化、そしてクライアントからクラウドにいたるすべてのサイトを保護するという全体像を見落としています。そのため、WANだけにとどまらず、エンタープライズ全体を結び付ける設計によってビジネスをサポートするSD-WANを選択する必要があります。

これらのソリューションを機能の幅と奥行きで比較してみましょう\*









## ネットワーク運用のための人工知能 (AIOps)

ネットワーク業界では、CLIを介してネットワークを運用する従来の古い方法から、自動化されたAIOpsアプローチへのパラダイムシフトが進んでいます。デバイス、ユーザー、アプリケーション、帯域幅、IoTなどの急拡大を考えた場合、ネットワーク問題のトラブルシューティングやインサイトの取得をログファイルに依存することは不可能です。AIOpsを使用すれば、人工知能と機械学習を利用して、膨大な情報から小さな問題を見つけて解決できるため、今日のデジタル化の規模にも対応できます。

バリュー プロポジション						
<b>AIOpsの機能</b>	● ● ● ● ● - Juniper Mist WAN Assuranceによるエンドユーザーエクスペリエンスの可視化とMTTR（平均修復時間）の短縮 - Marvis仮想ネットワークアシスタント	● ○ ○ ○ ○ ○ Nyansa製品は保証の提供を目指している	○ ○ ○ ○ ○ ○ AI/AIOpsなし	○ ○ ○ ○ ○ ○ AI/AIOpsなし	○ ○ ○ ○ ○ ○ AI/AIOpsなし	○ ○ ○ ○ ○ ○ ESPとSilver Peak製品との統合なし
<b>WANサービスレベル期待値 (SLE) : WAN全体の主要なユーザーおよびデバイスメトリックのSLEを監視および適用する機能</b> <b>AIドリブンのWANリンク、アプリケーション、デバイスの正常性監視</b>	● ● ● ● ● - SLEフレームワークでは、AIまたはMLによる機能を提供 - AIを使用してトラフィックを制御 - WANリンクの正常性、アプリケーションエクスペリエンス、ゲートウェイの正常性に適用されるSLE	● ○ ○ ○ ○ ○ Nyansa製品はSLEの導入を目指している	○ ○ ○ ○ ○ ○ AI/AIOpsなし	○ ○ ○ ○ ○ ○ AI/AIOpsなし	○ ○ ○ ○ ○ ○ AI/AIOpsなし	○ ○ ○ ○ ○ ○ ESPとSilver Peak製品との統合なし
<b>AIドリブンのインサイトとサポート内容</b>	● ● ● ● ● - WANエッジの状態に関するインサイト - WANのあらゆる側面に関する詳細なインサイト	● ○ ○ ○ ○ ○ Nyansaでの初期段階	○ ○ ○ ○ ○ ○ AI/AIOpsなし	○ ○ ○ ○ ○ ○ AI/AIOpsなし	○ ○ ○ ○ ○ ○ AI/AIOpsなし	○ ○ ○ ○ ○ ○ ESPとSilver Peak製品との統合なし
<b>AIOps仮想ネットワークアシスタント (VNA)</b>	● ● ● ● ● MarvisとMist AIの統合により、Wired Assurance、Wireless Assurance、WAN Assurance	● ○ ○ ○ ○ ○ Nyansaでは未提供	○ ○ ○ ○ ○ ○ AI/AIOpsなし	○ ○ ○ ○ ○ ○ AI/AIOpsなし	○ ○ ○ ○ ○ ○ AI/AIOpsなし	○ ○ ○ ○ ○ ○ ESPとSilver Peak製品との統合なし

## セキュリティとSASEの現状

企業では、WANを含む企業全体のセキュリティを確保する必要があります。セキュリティは後付けで設定するのではなく、最初から組み込まれている必要があります。SD-WANは、ゼロトラストアプローチから水平方向の脅威の拡散からの保護にいたるまで、SD-WAN全体にセキュリティポリシーをシンプルかつ効果的に適用する必要があります。

バリュー プロポジション						
<b>ネットワーク層で実装されたゼロトラストセキュリティ</b>	●●●●● - アクセス制御、セグメンテーション、方向性（方向の追跡とビジネスポリシーの適用）を簡素化する唯一のゼロトラストファブリック - SASEベースのポリシーと組み込みのルーティング	○○○○○ ネットワーク層にゼロトラストセキュリティなし	○○○○○ ネットワーク層にゼロトラストセキュリティなし	○○○○○ ネットワーク層にゼロトラストセキュリティなし	○○○○○ ネットワーク層にゼロトラストセキュリティなし	○○○○○ ネットワーク層にゼロトラストセキュリティなし
<b>ユーザー保護、ワークロード保護、水平方向の脅威の防御</b>	●●●●● ユーザーセキュリティ、IoTセキュリティ、ゼロデイ攻撃防御、フィッシング対策を含む包括的なポートフォリオ	○○○○○ セキュリティは、VMwareと競合が激化しているパートナーのテクノロジーとデバイスの追加に依存している。セキュリティポリシーはVMwareソフトウェアで制御されていない	●●●○○ セキュリティ機能は、使用されている支店または拠点プラットフォームに大きく依存している [vEdgeはCisco Umbrella CloudへのDNSフォワーダ]	●●○○○ AI/AIOpsなし	●●●●● AI/AIOpsなし	●○○○○ セキュリティは、Silver Peakと競合が激化しているパートナーのテクノロジーとデバイスの追加に依存している
<b>エンタープライズクラスの一元的政策管理</b>	●●●●● 一元的政策管理とエッジ適用を含む包括的なポートフォリオソリューション	○○○○○ Nyansaでの初期段階	●●●○○ AI/AIOpsなし	●●●●● AI/AIOpsなし	●●●●● AI/AIOpsなし	○○○○○ ESPとSilver Peak製品との統合なし
<b>アプリケーション、ユーザー、デバイスの脅威の可視性と分析</b>	●●●●● AIおよびMLアプリケーションによるユーザーの完全な可視性と脅威およびユーザーの可視性に関するライブフィード	○○○○○ VMwareはサードパーティのセキュリティソリューションを利用	●●●○○ 限定的なゼロデイの高度な脅威の学習と防御、およびLANに統合されたセキュリティ機能[最近のNSSラボレポートではCiscoのセキュリティは推奨されていない]	●●●○○ 限定的なゼロデイの高度な脅威の学習と防御	●●●●●	○○○○○ 統合型セキュリティなし
<b>統合型の高度な脅威インテリジェンスとWi-Fiエッジでの防御</b>	●●●●● 無線、有線、WANインフラストラクチャ全体に対応するConnected Security	○○○○○	○○○○○	○○○○○	●●●○○	○○○○○

# WANエッジの機能とパフォーマンス

SD-WANは進化しなければなりません。今日、製品のほとんどは、セキュリティが不十分で、コストがかかり、帯域幅を消費する、煩雑で高額なトンネルに依存しています。これに対し、ジュニパーのSession Smart™テクノロジーはトンネルフリーです。豊富で詳細なデータを提供するセッションを利用して、ユーザーエクスペリエンスを保証します。Mist AIと組み合わせることで、第3世代のSD-WANでユーザーエクスペリエンスを提供できます。







## バリュー プロポジション



	Juniper Networks	VMware	Cisco	Versa Networks	Fortinet	Hewlett Packard Enterprise
<b>ユーザー重視のデザイン、ユーザーエクスペリエンスの最適化</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>優れたユーザーエクスペリエンスを実現するセッションベースのテクノロジー</li> <li>セッションベースの詳細な可視化、インサイト、きめ細かいアプリ対応ルーティング</li> <li>遅延を最大60%削減</li> </ul>	<p>ユーザーのセッションではなく、ネットワーク重視の従来型アプローチ</p>	<p>ユーザーのセッションではなく、ネットワーク重視の従来型アプローチ</p>	<p>ユーザーのセッションではなく、ネットワーク重視の従来型アプローチ</p>	<p>ユーザーのセッションではなく、ネットワーク重視の従来型アプローチ</p>	<p>ユーザーのセッションではなく、ネットワーク重視の従来型アプローチ</p>
<b>SD-WANの経済性または帯域幅の削減</b>	<p>オーバーヘッドを排除するトンネルレスアーキテクチャまたはSVRIにより、帯域幅が30~50%節約され、インフラストラクチャコストを最大75%削減できます。</p>	<p>帯域幅を大量に消費するトンネルベースのアプローチ</p>	<p>帯域幅を大量に消費するトンネルベースのアプローチ</p>	<p>帯域幅を大量に消費するトンネルベースのアプローチ</p>	<p>帯域幅を大量に消費するトンネルベースのアプローチ</p>	<p>帯域幅を大量に消費するトンネルベースのアプローチ</p>
<b>インテリジェント暗号化：ほとんどのアプリケーションはデフォルトで暗号化される。HTTPSトラフィックなど（可能な限り、二重の暗号化を回避する）</b>	<p>Session Smart適応型の暗号化による帯域幅の節約：アプリケーショントラフィックがすでに暗号化されている場合、再度の暗号化は不要</p>	<p>インテリジェントでない暗号化</p>	<p>インテリジェントでない暗号化</p>	<p>インテリジェントでない暗号化</p>	<p>インテリジェントでない暗号化</p>	<p>インテリジェントでない暗号化</p>
<b>ユニバーサルCPE</b>	<p>ジュニパー NFXシリーズは、幅広い接続性と拡張性を提供する。広く知られ、導入されている</p>	<p>Dell EMC Edgeアプライアンス</p>	<p>Cisco 5000 ENCS</p>	<p>ユニバーサルCPEポートフォリオなし</p>	<p>ユニバーサルCPEポートフォリオなし</p>	<p>ユニバーサルCPEポートフォリオなし</p>
<b>あらゆる導入に対応するSD-WANエッジ（小規模から大規模の導入をサポート）</b>	<p>ジュニパーの幅広いポートフォリオは、デスクトップ型フォームファクターから大規模なキャンパス/エンタープライズまでカバー</p>	<p>ルーティング機能が限定的なWANエッジデバイス</p>	<p>製品範囲は幅広いが、異なる管理ソリューションで製品ラインが分割されている</p>	<p>支店または拠点向けサービスやホワイトボックスオプションが限定的</p>	<p>カスタムASIC設計により、ハイパフォーマンスを実現</p>	<p>ルーティング機能が限定的</p>
<b>リンクとアプリケーションの正常性測定</b>	<p>Juniper Paragon (Netronds) の高度な機能</p>	<p>パッシブ</p>	<p>アクティブ</p>	<p>アクティブ</p>	<p>アクティブ</p>	<p>アクティブ</p>
<b>耐障害性の高いWANエッジ設計</b>	<p>すべてのレベル（アクティブ/アクティブ、アクティブ/バックアップ、データセンターハブ、コントロールプレーン、データプレーン）での冗長性</p>					

## アーキテクチャ

今日、ソリューションの多くは、古いアーキテクチャに基づいていて、技術的に負債を抱えています。今日のクラウド時代に向けて構築する最新のソリューションは、最新のマイクロサービスクラウドアーキテクチャに基づいて構築する必要があります。これにより、ビジネスの俊敏性が確保され、ネットワークがビジネス運用に対応できるようになります。

バリュープロポジション						
<b>クラウド時代に対応したアーキテクチャの設計</b>	<p>● ● ● ● ●</p> <p>クラウドアーキテクチャに基づいた最新のマイクロサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- サービスのコンテナ化</li> <li>- 迅速でリスクの低い機能更新</li> <li>- ネットワークの中断を伴わない、ほぼリアルタイムのバグ修正</li> </ul>	<p>● ● ○ ○ ○ ○</p> <p>第1世代クラウド</p>	<p>● ● ○ ○ ○ ○</p> <p><b>Meraki :</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 第1世代クラウド</li> <li>- ホストされたデータベース「クラウド」の従来の共有データベース</li> <li>- 仮想コントローラベース</li> </ul> <p><b>Cisco :</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- モノリシックなコントローラベースの従来型ソフトウェアアーキテクチャ</li> <li>- 強力なクラウドソリューションなし、SMBに制限あり</li> <li>- 多数のハードウェアまたはボックスのすべてで適切なバージョンが必要</li> <li>- 複数の統合されていない製品とOS (10以上)</li> </ul>	<p>● ● ○ ○ ○ ○</p> <p>第1世代クラウド</p>	<p>● ○ ○ ○ ○ ○</p> <p>フラグメント化したクラウドサービス</p>	<p>● ● ○ ○ ○ ○</p> <p>Aruba ESPIは、マネジメント機能付きAruba Centralを再設計したもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- コントローラベースのアーキテクチャには、4種類のクラウドが存在</li> <li>- ユーザーは、ソフトウェアのすべてをアップグレード、管理、統合する必要がある</li> <li>- モノリシックなコードベースは拡張コストが高く、管理が難しい</li> <li>- 限定的なAPIサポート</li> </ul>
<b>拡張性多くのテナント、サイト、デバイスをサポートするために拡張可能</b>	<p>● ● ● ● ●</p> <p>SD-WANソリューションと比較して拡張性が3倍</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 垂直および水平方向の柔軟な拡張</li> <li>- 高価なハードウェアは不要</li> <li>- 単一ソフトウェアイメージによるリリーススケジュールとアップグレードパスの簡素化</li> </ul>	<p>● ● ● ○ ○ ○</p> <p>マルチテナントやマルチサイトの拡張には、多くのオーケストレーターとゲートウェイの追加が必要</p>	<p>● ● ● ● ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 拡張は複雑で、マネジメントおよびコントロールプレーンで管理するvManage、vBond、vSmartが必要</li> <li>- CiscoではMeraki for Lean ITを推奨：フル機能を搭載しているSD-WANへのソフトウェアとハードウェアのフォークリフトアップグレードが必要</li> </ul>	<p>● ● ● ● ● ○</p> <p>現在5,000のCPEをサポートしている</p>	<p>● ● ● ● ● ●</p> <p>FortiManagerは10万サイトをサポートしていると主張</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- ただし、公にテストと実証が行われているわけではない</li> <li>- ソリューションの管理プレーンのみに関係</li> </ul>	<p>● ● ● ● ○</p> <p>クラウドVPCパフォーマンスに基づいた拡張</p>
<b>自動化の汎用性 (API、拡張用プラグイン)</b>	<p>● ● ● ● ●</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- シンプルで、100% APIドリブン</li> <li>- APIおよび構成テンプレート</li> <li>- 顧客は拡張用に独自のプラグインを作成可能</li> <li>- SplunkおよびServiceNowとの統合</li> </ul>	<p>● ● ○ ○ ○ ○</p> <p>VeloCloud Orchestratorに対する基本API</p>	<p>● ● ● ● ○</p> <p>DevNetサポートで利用可能なRest API</p>	<p>● ● ● ● ● ○</p> <p>Rest API</p>	<p>● ● ● ● ○</p> <p>複数のPythonモジュールに依存していることによる複雑さ</p>	<p>● ● ● ○ ○ ○</p> <p>RESTful APIを利用可能</p>

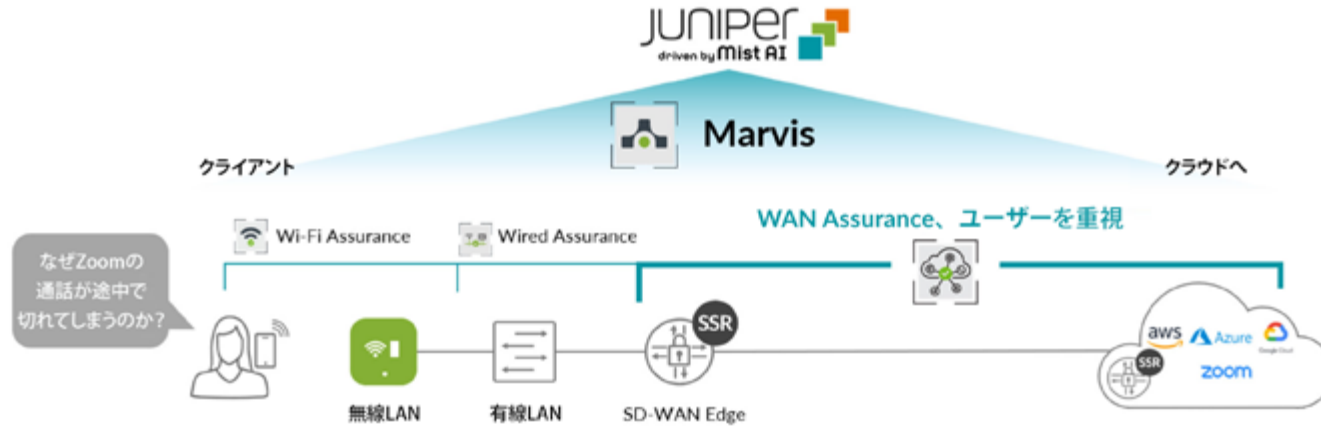
バリュー  
プロポジション



	JUNIPER NETWORKS	vmware	CISCO	VERSA NETWORKS	FORTINET	Hewlett Packard Enterprise
俊敏性	<p>● ● ● ● ●</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- モノリシックコードベースではなく、最新のマイクロサービスベースのクラウド</li> <li>- ネットワークの中断なしに短時間で更新</li> </ul>	<p>● ● ○ ○ ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 第1世代クラウド</li> <li>- マイクロサービスベースのクラウドアーキテクチャがない</li> </ul>	<p>● ● ○ ○ ○</p> <p><b>Meraki :</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- VMとハイパーバイザーを備えた第1世代クラウド</li> <li>- 最新のマイクロサービスアーキテクチャがないため、更新に時間がかかる</li> </ul> <p><b>Cisco :</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 新しいデバイス/アプリ/バグフィックスを更新する機能が劣るモノリシック（脆弱な）ソフトウェア</li> <li>- 更新リスクの上昇</li> </ul>	<p>● ● ○ ○ ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 第1世代クラウド</li> <li>- マイクロサービスベースのクラウドアーキテクチャがない</li> </ul>	<p>● ○ ○ ○ ○</p> <p>フラグメント化したクラウドサービス</p>	<p>● ● ○ ○ ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 新しいデバイス/アプリ/バグフィックスを更新する機能が劣るモノリシック（脆弱な）ソフトウェア</li> <li>- 更新リスクの上昇</li> </ul>
導入の柔軟性	<p>● ● ● ● ●</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- エンタープライズビジネスの規模に関係なく拡張可能、短時間で更新可能</li> <li>- ワンクリックで効率的な展開を有効化</li> <li>- 全ライフサイクルを管理するWired Assurance、Wi-Fi Assurance、WAN Assurance</li> </ul>	<p>● ● ● ○ ○</p>	<p>● ● ● ○ ○</p> <p>同じ場所に配置されたデータセンターでホストされている仮想コントローラ</p>	<p>● ● ● ● ○</p> <p>さまざまな導入オプション</p>	<p>● ● ● ○ ○</p>	<p>● ● ● ○ ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 大口顧客向けコントローラまたはゲートウェイ</li> <li>- 中小規模顧客向けのAruba Central</li> <li>- モノリシックアーキテクチャ</li> <li>- オンプレミスとクラウドのソリューションを提供</li> <li>- さまざまな用途で提供</li> </ul>
マルチテナント機能	<p>● ● ● ● ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 構成可能なRBACを備える単一のコントローラまたはクラウドマネージドアカウントで、複数のプロバイダ、企業、部門のすべてを階層型で制御</li> <li>- 1回のユーザーログインで環境を切り替え可能</li> <li>- Mist Wi-Fiおよび保証サービスも1回のログインでマルチテナントにすることができる</li> </ul>	<p>● ● ● ○ ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- マルチテナントクラウドゲートウェイとオーケストレータ（「スケール」評価を参照。多くのテナントに対応するには、多くのオンプレミスソフトウェアインスタンスが必要）</li> <li>- LANは該当しない</li> </ul>	<p>● ● ● ○ ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 顧客ごとに1つのvSmart、およびvManageごとv/Bondごとに限定された数の顧客</li> <li>- 代替オプションでは、Meraki、マルチテナント機能を使用できない</li> </ul>	<p>● ● ● ● ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- サービスプロバイダのマルチテナント機能のために作成されている</li> <li>- 階層なし</li> <li>- LANは該当しない</li> </ul>	<p>● ● ● ● ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 管理ドメイン（ADOM）を提供し、FortiManagerで使用される</li> <li>- プロバイダと顧客のマルチテナント機能は同一レベルであるが、これらのビューを切り替えるために別途ログインが必要</li> </ul>	<p>● ○ ○ ○ ○</p> <p>RBACは限定的で、マルチレイヤーテナント管理はない</p>

## クライアントからクラウドまで

SD-WANソリューションは、クライアントからクラウドにいたるまで、ユーザーエクスペリエンスの全体像を提供するのに役立つはずですが、したがって、包括的なソリューションでは、ユーザーがWi-Fiに接続した瞬間からインサイトとトラブルシューティングを提供し、有線ネットワークにトラフィックを渡してから、WANに送る必要があります。また、ネットワーク内ですべての接続を相互に関連付け、「なぜZoomの通話が途中で切れてしまうのか？」などの問題を解決する必要があります。次の図は、クライアントからクラウドまで、ネットワーク全体にわたるAIOps、ユーザーエクスペリエンス、およびセキュリティの全体像を示したものです。



### バリュー プロポジション

JUNIPER  
NETWORKS

vmware®

CISCO

VERSA  
NETWORKS

FORTINET®

Hewlett Packard  
Enterprise

バリュー プロポジション	JUNIPER NETWORKS	vmware®	CISCO	VERSA NETWORKS	FORTINET®	Hewlett Packard Enterprise
<b>クライアントからクラウドまでのAIOps</b>  運用を簡素化し、ITチームが優れたユーザーエクスペリエンスを提供できるようにする	● ● ● ● ● Mist AIドリブンで、ネットワーク内のすべてのポイントに関連するインサイトを取得し、トラブルシューティングを自動化する AIOpsとは何か？ AIとML	● ○ ○ ○ ○ ○ Nyansa製品は保証の提供を目指している	○ ○ ○ ○ ○ ○ AI/AIOpsなし	○ ○ ○ ○ ○ ○ AI/AIOpsなし	○ ○ ○ ○ ○ ○ AI/AIOpsなし	● ○ ○ ○ ○ ○ - 基本的な機能：ユーザーがネットワークの問題を自分で解決するための複数のダッシュボードによる推奨（修復ではない） - VNAはなく、効果的なMLのための時間も不足
<b>クライアントからクラウドまでのユーザーエクスペリエンス</b>  AIを活用して、クライアントからクラウドまで優れたエクスペリエンスをユーザーに保証する	● ● ● ● ● - Mist AIドリブンのWi-Fi Assurance、Wired Assurance、WAN Assuranceにより、すべてのユーザーに常に最適なエクスペリエンスを保証する - Juniper Mistクラウドサービス - Juniper MistのWAN Assurance	● ○ ○ ○ ○ ○ Nyansa製品は保証の提供を目指している	● ○ ○ ○ ○ ○ ユーザーエクスペリエンスに関するインサイトはきわめて限定的	● ○ ○ ○ ○ ○ AI/AIOpsなし	○ ○ ○ ○ ○ ○ AI/AIOpsなし	● ○ ○ ○ ○ ○ - ユーザーエクスペリエンスに関するインサイトはきわめて限定的 - 多くの機能にはCLIテンプレートが必要

バリュー  
プロポジション



バリュー プロポジション	JUNIPER NETWORKS	vmware	CISCO	VERSA NETWORKS	FORTINET	Hewlett Packard Enterprise
<b>クライアントからクラウドまでのセキュリティ</b>  <b>境界を越えてすべてのデバイスとクラウドまで、ゼロデイ脅威からの保護</b>	<p>● ● ● ● ●</p> <p>Juniper Connected Security およびゼロトラスト機能により、アプリケーション、ユーザー、デバイス、データのすべてを保護し、すべての脅威を防御する</p>	<p>● ○ ○ ○ ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 定評のあるセキュリティベンダーではない</li> <li>- 包括的で高度なセキュリティを提供するには、サードパーティのテクノロジーに依存しなければならない</li> </ul>	<p>● ● ● ● ○</p> <p>ISEおよびStealthwatchとOpenDNSとの統合</p>	<p>● ○ ○ ○ ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 定評のあるセキュリティベンダーではない</li> <li>- 包括的で高度なセキュリティを提供するには、サードパーティのテクノロジーに依存しなければならない</li> </ul>	<p>● ● ● ● ●</p>	<p>● ○ ○ ○ ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 定評のあるセキュリティベンダーではない</li> <li>- 包括的で高度なセキュリティを提供するには、サードパーティのテクノロジーに依存しなければならない</li> </ul>
<b>統合型の有線アクセススイッチング</b>	<p>● ● ● ● ●</p> <p>Mist AIは、仮想シャーシ、ESI-LAG、MC-LAG、またはEVPN-VXLANを含むすべてのキャンパスアーキテクチャをサポートし、EXシリーズ有線アクセスネットワークのすべての側面を構成して運用する</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p> <p>LAN管理機能なし</p>	<p>● ● ● ● ○</p> <p>顧客は依然として2つのソリューションタイプ (Software-Definedアクセスとクラウドベース) のどちらかを選択しなければならない</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p> <p>LAN管理機能なし</p>	<p>● ● ○ ○ ○</p> <p>スタッキングソリューションが劣るため、スイッチングプラットフォームの機能は限定的</p>	<p>● ● ● ○ ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- コントローラ/ゲートウェイによる有線エクスペリエンスのインサイトはきわめて限定的</li> <li>- 多くの機能にはCLIテンプレートが必要</li> <li>- ダイナミックポート設定には、ロックインアーキテクチャを備えたClearPassとモビリティコントローラが必要</li> <li>- ポートプロファイルでは、多くの手動による設定が必要</li> </ul>
<b>統合型Wi-Fi</b>  統合以外の無線の詳細な比較については、 <a href="http://mist.com/compare-wlan-solutions/">mist.com/compare-wlan-solutions/</a> を参照	<p>● ● ● ● ●</p> <p>AIドリブンのインサイト、モニタリング、修復機能を備えたMist AIを活用した、世界に通用するAIドリブンの無線BLE位置情報テクノロジーの運用と設定</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p> <p>LANまたは無線管理機能なし</p>	<p>● ● ● ● ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- MerakiおよびDNA間で分割されている</li> <li>- インサイト、モニタリング、修復のための本格的なAI Opsソリューションなし</li> </ul>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p> <p>LANまたは無線管理機能なし</p>	<p>● ● ● ○ ○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 統合型のWi-Fi管理 (強力な無線ネットワークの競合製品ではない)</li> <li>- インサイト、モニタリング、修復のための本格的なAI Opsソリューションなし</li> </ul>	<p>● ● ● ○ ○</p> <p>インサイト、モニタリング、修復のための本格的なAI Opsソリューションなし</p>



Engineering  
Simplicity

米国本社  
Juniper Networks, Inc.  
1133 Innovation Way  
Sunnyvale, CA 94089 USA  
電話番号：888.JUNIPER (888.586.4737)  
または+1.408.745.2000  
FAX：+1.408.745.2100  
www.juniper.net

APAC, EMEA本社  
Juniper Networks International B.V.  
Boeing Avenue 240  
1119 PZ Schiphol-Rijk  
Amsterdam, The Netherlands  
電話番号：+31.0.207.125.700  
FAX：+31.0.207.125.701

日本  
東京本社  
ジュニパーネットワークス株式会社  
〒163-1445 東京都新宿区西新宿3-20-2  
東京オペラシティタワー 45階  
電話番号：03-5333-7400  
FAX：03-5333-7401  
西日本事務所  
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-2-2  
ヒルトンプラザウエストオフィスタワー 18階  
www.juniper.net/jp/jp

Copyright 2021 Juniper Networks, Inc. All rights reserved. Juniper Networks, Juniper Networksロゴ、Juniper、Junosは、米国およびその他の国におけるJuniper Networks, Inc.の登録商標です。その他すべての商標、サービスマーク、登録商標、登録サービスマークは、各所有者に所有権があります。ジュニパーネットワークスは、本資料の記載内容に誤りがあった場合、一切責任を負いません。ジュニパーネットワークスは、本発行物を予告なく変更、修正、転載、または改訂する権利を有します。